

INFO

新かがわ中小企業応援ファンド等事業募集中

(公財)かがわ産業支援財団では、2017年度に創設した「新かがわ中小企業応援ファンド」などを活用して、県内中小企業者などが行う研究開発や販路開拓、生産性向上、人材育成などの取り組みを支援しています。

募集内容

支援メニュー		助成率・限度額
新分野等チャレンジ支援事業		3分の2以内・100万円
競争力強化研究開発支援事業		3分の2以内・500万円
ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業		3分の2以内・200万円
創業ベンチャー支援事業		3分の2以内・200万円
農商工連携支援事業		3分の2以内・200万円
withコロナ対応支援事業	商品・技術開発枠	3分の2以内・200万円
	販路開拓枠	35万円

募集期間 2022年1月27日(木)まで

支援事例

競争力強化研究開発支援事業
[インターマシ株式会社]
牛解体における自動背割り装置の開発

農商工連携支援事業
[株式会社おがた食研] [四海漁業協同組合]
香川県産魚を使ったレトルトおよびスモーク練り製品の開発と販路開拓

支援メニューの内容、申請方法、関係書類など、詳しくは

 (問い合わせ先)
 (公財)かがわ産業支援財団 ファンド事業推進課
 ☎ 087-868-9903



代表取締役社長の砂古泰昌さん

ミンチ肉を切る時に使用するカッター

が増えたといえます。しかし「ファクスの売り上げが下火になってくるとメーカーは一気に撤退しました。当時東京で営業をしていた私も、次の製品開発の必要性を痛感したものです」と、代表取締役社長の砂古泰昌さん。そこで注目したのが、従来は手で切っていた店頭レジのレシートを、自動でカットするカッターユニットでした。きれいに切れて便利だと評判を呼び、こちらもヒット商品に。「分野を問わず、シート状のものがカットされて出てくるタイプの機械には、ほぼカッターが付いていますから、応用の幅はとても広いんですよ」と砂古さんが語る通り、レジのレシートだけでなく交通機関の切符、映画のチケット、駐車場のレシート、写真シール作成機（プリンタ）やデジカメプリンターなどに次々と同社のカッターユニットが採用され、国内シェアは今や8割以上、海外でも強みを発揮しています。

**ものづくり環境を生かし
新しい分野にも意欲**

カッターユニットと一口に言っても、機械によって仕様はさまざまです。同社はメーカー製品の設計段階から深く関わり、オーダーメイドで一つ一つ要望に応え、採用後も長い

関係を育むスタイルを得意としています。「開発から関わられるのが一番の強みですね。開発・技術・製造・品質の一貫体制を生かして、ユーザーのニーズにどう応えていくかをこれからも追求したい」と砂古さん。キャッシュレス化・ペーパーレス化が進むにつれてレシートや写真プリントなどのニーズは伸び悩みも懸念されていますが、砂古さんが注目しているジャンルは、物流業界。貨物のタグやラベルを印刷するバーコードプリンター用のカッターユニット。のりの粘着にも強い特殊な非粘着コーティングを社内です掛けられるよう、開発に力を入れているところですよ。

「営業担当者にはいつも、新しいアイテムを見つけてくれるよう呼びかけているんです」と砂古さん。「刃物作りで培った加工・熱処理・研磨の高い技術と品質管理体制が整ったものづくり環境を生かせば、精密部品など新しい分野にも可能性が広がります。コロナ禍の影響でまだまだこれからではあります。従来は、広く開拓していきたくないと、意欲的に語ってくれました。

問い合わせ先
 (公財)かがわ産業支援財団 取引支援課
 ☎087-868-9904

汎用性の高い
カッターユニット

同社のルーツは江戸中期の刀鍛冶。武士が「戦う刀」を求める時代ではありませんでした。仁尾は瀬戸内海の海路の要所として商業が栄えた土地で、商人の護身刀のニーズが高かったそうです。明治の廃刀令で刀が作れなくなってきたのは技術を生かせる刃物作りに切り替え、やがてタバコの葉を刻む刃物を開発して会社を立ち上げました。たばこ産業の隆盛とともに大正時代には中国まで拠点を展開した時期もありましたが、敗戦に伴って撤退。戦後はのこぎり・ペンチなどの工具の製造を主軸としました。工具や包丁など単品の刃物を手掛けていた同社の転機となったのは、業務用ファクスに組み込まれる、電動でロール紙をカットする「カッターユニット」の開発です。ファクスが普及するにつれて、大手OA機器メーカーとのつながりも深まりました。家庭用ファクスが誕生してからは、桁が一つ変わるほど売り上げ

政府
 登録
 朝日標煙刀經售處

タバコ葉用刃物を製造当時の政府の登録証

挑戦する
かがわの 44
ものづくり企業

実は私たちの生活のあちこちで活躍している「カッター」技術。刀鍛冶由来の高い技術と、多様な用途開発を得意とする、香川のものづくり企業を紹介します。

株式会社大矢根利器製作所
 (住所)三豊市仁尾町仁尾丁396番地
 (創業)1898年
 ☎0875-82-3102
 http://www.oyaneriki.co.jp/

株式会社 ORCホールディングス
 株式会社 大矢根利器製作所
 株式会社 ORC JAPAN

次々と花開く分野開拓へ